

カヌー

◎問い合わせ

総務課 秘書広報係 ☎37-0088

神埼高校 カヌー部

2年 城島^{としなり}寿成さん(神埼町姉川上分)カナディアンシングル、ペア
1年 佐々原^{はると}遥音さん、前田^{くわが}空我さん カナディアンペア

全国高校総体に向けての意気込み

城 島：自分の爪痕を残し、優勝、入賞を目指し頑張りたい。
佐々原：冷静さを持ち、焦らずプレーしたい。
前 田：2人には全力を出してもらえるようサポートしたい。

カヌーの魅力、カヌーをやっていてよかったこと

城 島：体力や筋力がついて自信につながった。
佐々原：努力をすれば、誰でも速くなれるところ。
前 田：技術を身につければ、速くなるどころ。

園田里志監督の声

3人とも初めての全国総体なので、しっかり経験を積み来年に繋げて欲しい。全国に神埼高校の名前を刻む戦いを期待している。

※カナディアンとは・・・

艇の上で立膝の体制をとり、片側だけに水掻きのついたパドル(かい)と呼ばれるオールのようなもので左右どちらかを漕ぎながら前に進みタイムを競う競技です。日本国内で呼んでいる「カナディアン」は、海外では「カヌー」と呼んでいます。



佐々原遥音さん

城島寿成さん

前田空我さん

神埼清明高校 新体操部

キャプテン 3年 石橋^{ともや}知也さん(神埼町小津ケ里)
副キャプテン 3年 中山^{そういちろう}蒼一朗さん

全国高校総体に向けての意気込み

石橋：目標は優勝。ノーミス、人の印象に残るような演技をしたい。
中山：昨年の全国高校総体は中止、一昨年は団体3位だったので2年間分の思いをぶつきたい。

新体操をやっていてうれしかったこと、つらかったこと

石橋：ノーミスの演技で優勝できたこと。ケガで試合に出られなかったこと。
中山：試合で練習通りに成果が出せた時。ケガをしていた期間。

チームワークをよくするために心掛けていること

石橋：普段は和気あいあいとしているが、練習になったら切り替えて、学年関係なく各々チームの修正点などを言い合うこと。

中山智浩監督の声

新体操を通して、思いやりや礼儀を学んでほしい。技術面では、常に試合をイメージして練習しなさいと伝えている。高校総体では、3年ぶりに日本一を獲りたい。



川内^{じゆら}珠羅さん

小野^{そうた}蒼天さん

石橋知也さん

中山蒼一朗さん

村里剛一さん

(神埼町伏部)

浅田匠さん

全国高校総体

高校生たちのスポーツの祭典・全国高等学校総合体育大会が、北信越地域を舞台に7月24日から8月24日まで開催されます。今回は、県・九州予選を勝ち抜いた神埼高校、神埼清明高校の全国高校総体出場選手とその部活動を紹介します。市民の皆さんの応援をお願いします。

(健闘を祈っています)



神埼清明高校 女子ハンドボール部

キャプテン えみり
3年 友田愛美莉さん(神埼町出来町)

全国高校総体に向けての意気込み

昨年から目標であった全国高校総体ベスト8を目指す。昨年は中止になったので先輩たちの思いを背負い頑張りたい。

チームワークをよくするために心掛けていること

ミスをしたときにすぐ声を掛け合う。思ったことはすぐ言うようにし、チーム内での信頼を築いている。

練習で心掛けていること

声を出すこと。試合で使えるように、試合さながらの練習をすること。

貞島早苗監督の声

佐賀県の代表として出場するので、生徒たちの良いプレーをたくさん引き出し、一つでも多く試合ができれば良いと思う。



友田愛美莉さん



神埼清明高校 男子ハンドボール部

キャプテン 3年 古賀春輝さん(千代田町下犬童)
副キャプテン 3年 坂井瑠伽さん(千代田町詫西)
3年 山本悠斗さん(神埼町協和町)

全国高校総体に向けての意気込み

古賀：高校総体優勝を目指したい。
坂井：試合では周りを見て、みんなをいい雰囲気を持っていけるように頑張りたい。
山本：最初で最後の高校総体なので、悔いが残らないように丁寧にプレーしたい。

チームワークをよくするために心掛けていること

山本：いいプレーは褒め合い、悪いプレーは指摘し、常に声を掛け合うこと。

ハンドボールの魅力

古賀：ハンドボールはスピード、パワーなど、ほかの部活にないようなところ。
坂井：ハンドボールはぶつかり合ったり、激しいスポーツなので、プレーする方も見ている方も楽しめる場所。

坂井秀光監督の声

日頃から挨拶や礼儀などをきちんとし、周りから応援されるチームになろうと言っている。高校総体では、楽しみながら自分たちのプレーをしてほしい。



坂井瑠伽さん

古賀春輝さん

山本悠斗さん



梅雨の晴れ間に サツマイモ苗を植栽

5月25日



仁比山保育園の4・5歳児31人が、宮島大作さん(神埼町的)の畑で、サツマイモ苗の植栽を行いました。

子どもたちは、苗を寝かせて植えるのが難しそうでしたが、葉っぱの向きに気をつけながら丁寧に植えていきました。いろいろな虫が出てきて、虫探しも楽しんでいました。子どもたちは「早く大きくなるといいね」などと話しながら、秋の芋ほりを楽しみにしています。

田中商事と 立地協定を締結

5月12日



神埼町朝日地区で操業している、有限会社田中商事(一般貨物自動車運送事業)が倉庫を増設することが決まり、立地協定を締結しました。

新たに増設する倉庫は、令和4年2月の操業開始を予定しています。

締結式で田中淳二代表取締役は「平成29年に進出し業績は順調に推移している。市民の雇用を通じて神埼市に貢献したい」と話しました。また、新たに7人の従業員を雇用予定であることも発表しました。

人命救助で感謝状

5月26日



4月、神埼中学校2年の野口七海さん・伊藤和乃香さん(ともに神埼町西小津ヶ里)が、歩道に座り込んで立ち上がれずにいる男性を助けたとして、また、5月、会社員の牟田雅典さん(神埼町野田)が、22時頃強い雨の中で傘を差さずに歩いている高齢女性に気付いて声をかけ、いち早く警察に通報したとして神埼警察署長から感謝状が贈呈されました。

3人は「勇気はあったが、事前に事故、事件を防ぐことができ、人命救助に繋がってよかった」と振り返りました。

地域の活性化に向け 郵便局とタッグ

5月17日



市は日本郵便(株)と、県内では市として初めてとなる「地方創生に関すること」など5分野における「包括的連携協定」を締結しました。

これまで市内の各郵便局から集配時の高齢者の見守りや道路破損箇所の情報提供などを受けていましたが、今回の協定を受け、さらに連携を図りながら、よりよいまちづくりを進めます。

調印式では、市長と神埼市担当の脊振郵便局廣瀧直義局長が協定書にサインし、市長は「大変ありがたい。さらに住みやすいまちになるように取り組んでいきたい」と感謝の意を述べました。



Facebook アカウント名:くねんニャン
<https://www.facebook.com/kankoukanzaki/>



インスタグラム アカウント名:くねんニャン【公式】
<https://www.instagram.com/kunennyann0501/>



市民の健康を願って 「桑菱茶」の新茶発表会・試飲会

6月1日

令和3年度 桑菱茶販売発表会・試飲会



今年度の桑菱茶新茶が完成し、発表会を行いました。集まった市民の皆さんに新茶がふるまわれ「甘みがある」「飲みやすい」などの声が聞かれました。

桑菱茶は、神埼市産100%の桑の葉と菱の外皮を調合しており、神埼市総合計画に掲げる「“幸せ”を感じる暮らしやすいまちづくり」の基本理念に基づき、生活習慣病の改善、市民の皆さんの健康維持や健康増進に寄与することを目的に開発され、令和2年10月から販売しています。

今年度は、昨年度より栽培面積を17a拡大させ、生産を増量する計画です。昨年に続き市民が購入する際は、半額の助成も行われます。

東洋ビューティ佐賀工場から 食料品寄贈

5月27日



東洋ビューティ(株)佐賀工場から新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困っている人に対する支援を目的として食料品を寄贈していただきました。市長は「生活に困窮されている世帯の支援に活用させていただきます」と感謝の意を述べました。

今回寄贈していただいた食料品は、神埼市社会福祉協議会を通じて支援を必要とされている人に配付されます。

眼鏡橋を描いた「絵」寄贈

6月2日



画家、島日出夫さん(神埼町本堀、平成16年逝去)の作品を、ご遺族から寄贈いただきました。

島さんは、「橋」をテーマに20年以上描き続けられ、個展を開催されるなど、活躍されました。

今回寄贈いただいた貴重な作品は、脊振町の眼鏡橋を題材にした作品であり、脊振交流センター1階ロビーに展示をしていますので、ぜひご覧ください。

市施設に「書」11点寄贈

5月31日



書道家、松永豊秀さん(本名:豊治、神埼町野目ヶ里、平成25年逝去)の作品11点を、ご遺族から寄贈いただきました。

松永さんは、1975年にかな書道研究の蒼鉄社(現・蒼松会)を創設し、福岡県立美術館などでも個展を開催されるなど、書の世界で長きにわたり活躍されました。

今回寄贈いただいた貴重な作品は、本庁舎などの公共施設に展示をしていますので、ぜひご覧ください。

展示場所:本庁舎(3階待合室)、脊振交流センター(1階ロビー)、中央交流センター(1階ロビー)、中央公民館(1・2階ロビー)

新型コロナウイルス感染症予防下の

災害避難に思うこと

九州北部地域は、いよいよ大雨洪水の時期となったのではと思われまます。梅雨入りが宣言されましたが、これまでは梅雨前線が九州中南部から沖縄一帯に多くあつたのですが、九州北部にかかる状態がみられるようになったようです。

天気予報では、非常に多くの降雨が予想される旨の報道がなされることから、先の熊本南部地域の水害や武雄市地域の水害を思い起こします。わが神埼市の山麓部に時間雨量100mmを超える大雨が降れば、と想像すれば、不安とともに恐怖を感じてしまします。以前の「市長の部屋」でも述べましたが、大雨洪水の時は、市民の皆さんへ避難指示を発令します。速やかな避難行動をお願いします。

専門家ではない私が、ざつと計算してみますと、城原川の上流集水面積が49・3kmとされていることから、仮に時間雨量100mmの降雨があれば、

城原川に流れ込む洪水量は1秒あたり1,300m³を超えることとなります。平成21年の大雨の時、国によると、城原川を流れた最大洪水量は毎秒430〜450m³であろうとのこと。その時の降雨状況は、時間雨量60mmで、野越5力所で越流、その量は毎秒30〜50m³だったといわれ、有明海の満潮時と重なっていました。このように、もし有明海の満潮時と重なり、また、筑後川上流部の大分県・熊本県地域の降雨量が多く、筑後川の水位が高くなるなどの悪条件が重なれば、脊振に降る100mmの降雨を考えると、心配でたまりません。

要するに、城原川の堤防が破堤しなくても、毎秒850m³(1,300t(マイナス)450)の洪水が野越を越えて、神埼市街地域に流れ込む計算となります。これだけの洪水が長時間に及ぶほど多量の水が市街地に溢れることとなります。ひいては、南部の千代田町地域にその被害が及ぶこととなります。

このような災害に見舞われるとすれば、城原川と田手川に挟まれた地域の市民は「避難指示」のもと、全員に避難をしてもらうこととなります。すると、避難所も全く足りません。市で準備している避難所だけでは、規模が不足します。また、コロナの状況下での避難は、さらに不足することになります。自家用車を有する市民は、自己の生命を守ることを自家用車を浸水から守ることを兼ねて高台(神埼町仁比山地区等)避難をお願いします。

6月議会におきましても、コロナの状況下での避難場所の確保とその受付対応など行政サービスについての質疑を受けたところですが、これまでに経験した程度の想定できる洪水災害であれば、何とかこなせると思いますが、これまでの経験値を超えたものであれば、その時点、その場所等において適切・妥当なサービス対応に心掛けざるを得ません。そうすることは、職員はもとより、市民各位においても、状況を認知され、自己の生命を最優先にしながらも、一人でも多くの市民の生命を守るように自助・共助・公助の精

神のもとにおいて、災害避難がなされることを切にお願いします。

話は変わりますが、城原川山麓に設けられている9力所の「野越」は、西側(佐賀市側)に2力所、東側に7力所あります。川で溢れる洪水は、野越から越流・流出させるもので、その流域を俯瞰してみると全く驚かされまます。城原川堤防(左岸Ⅱ西側)と田手川堤防(右岸Ⅱ西側)および下流域の筑後川堤防に囲まれた一帯は、まさに遊水地ではありませんか。皆さんは、どう思われますか。地球温暖化、気候の変動などに起因した雨の降り方が尋常ならぬ今日、内水氾濫の状態に、さらに野越からの洪水を重ね合わせる事となる神埼市の超大規模遊水地内の市民の生命が心配でたまりません。市民の皆さんには、自身を守るため、日頃から、どこに、どういった手段で避難するかなど事前の備えを考えていただければと思います。

(6月17日記)

神埼市長 松本 茂幸

市長交際費の公表 (令和3年5月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	0	0
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	0	0

夜の市長室

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください!

○今後の予定

とき	ところ
7月6日(火)	脊振交流センター
8月3日(火)	神埼市役所

18:00 ~ 20:00 (1組30分程度)
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

6月の千代田交流センター開催分には、2組2人が来庁されました。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。